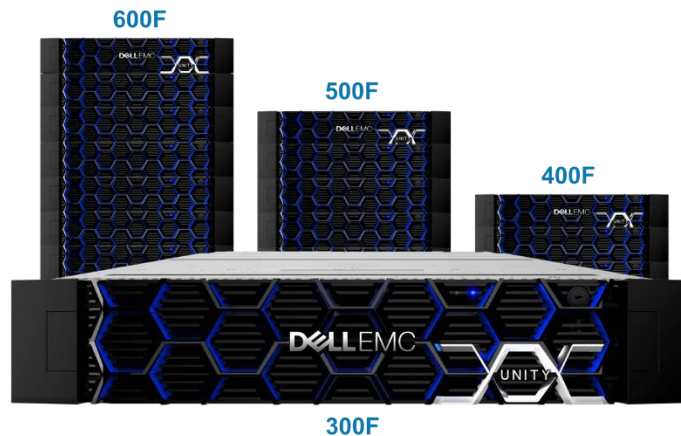


DELL EMC UNITYオール フラッシュ ストレージ300F、400F、500F、600F



シンプルで価値のある究極のストレージ

Dell EMC Unity™オール フラッシュ製品ラインは、魅力的なシンプルさ、モダンな設計、柔軟な導入、手頃な価格によりストレージの新しい基準を設定します。大企業から中小企業まで、リソースが限られたITプロフェッショナルに最適です。

小さな設置面積で優れた機能と究極のシンプルさを求める場合でも、コストを低く抑えて最高の結果を得る必要がある場合でも、Dell EMC Unityオール フラッシュはニーズに応えます。オール イン ワン ソフトウェアを備えたフラッシュ用に設計されたDell EMC Unityは、短いレスポンス タイムで安定したパフォーマンスを提供します。

製品仕様

アーキテクチャ

パワフルな新しいIntel E5-2600プロセッサ ファミリーを基盤としたDell EMC Unityオール フラッシュ ストレージ システムには、ネイティブのNAS、iSCSI、ファイバ チャンネル プロトコルのコンカレント サポートが可能な、ブロック、ファイル、VMware VVolsに対応する統合アーキテクチャが実装されています。各システムは、デュアル ストレージ プロセッサ、完全な12 Gb SAS/バックエンド接続、Dell EMCの特許取得済みのマルチコア設計動作環境を活用して、圧倒的なパフォーマンスと効率性を実現します。ストレージ容量はDAE(ディスク アレイ エンクロージャ)で追加できます。また、オンライン コントローラ アップグレードでパフォーマンスを向上させることができます。

物理仕様

	300F	400F	500F	600F
最小/最大ドライブ数	6/150	6/250	6/500	6/1000
アレイ エンクロージャ	2U DPE(ディスク プロセッサ エンクロージャ)に 25 台の 2.5 インチドライブを搭載			
ドライブ エンクロージャ (DAE - ディスク アレイ エンクロージャ)	すべてのモデルで、2.5 インチドライブ用の 2U 25ドライブトレイと 3U 80ドライブトレイをサポート			
スタンバイ電源システム	Dell EMC Unityシステムには、DPE/DAEごとに2個のPS(電源)から電力が供給されます。一方の電源が取り外された場合や故障した場合は、もう一方の電源でモジュール全体に電源を供給できます。電源障害時、DPEの電力はBBU(バッテリー バックアップ)モジュールから供給されます。BBUはSPエンクロージャ内にあり、単一のモジュール(電源領域)に電力を供給します。			

	300F	400F	500F	600F
RAIDオプション	1/0、5、6			
アレイあたりのCPU	Intel 6 コア x 2、1.6GHz	Intel 8 コア x 2、2.4GHz	Intel 10 コア x 2、2.6GHz	Intel 12 コア x 2、2.5GHz
アレイあたりのメモリ	48 GB	96 GB	128 GB	256 GB
アレイあたりの最大IOモジュール*	4	4	4	4
組み込みSAS I/Oポート数 (アレイ単位)	4レーン12 Gb/秒SASポート x 4、BE (バックエンド) 接続用	4レーン12 Gb/秒SASポート x 4、BE接続用	4レーン12 Gb/秒SASポート x 4、BE接続用	4レーン12 Gb/秒SASポート x 4、BE接続用
オプションのSAS IOポート (アレイ単位)	該当なし	該当なし	4レーン12 Gb/秒SASポート x 8または8レーン12 Gb/秒SASポート x 4、BE接続用	4レーン12 Gb/秒SASポート x 8または8レーン12 Gb/秒SASポート x 4、BE接続用
12 Gb/秒SAS BEバス基本数 (アレイ単位)	4レーン x 2	4レーン x 2	4レーン x 2	4レーン x 2
12 Gb/秒SAS BEバス最大数 (アレイ単位)	4レーン x 2	4レーン x 2	4レーン x 6または4レーン x 2 + 8レーン x 2	4レーン x 6または4レーン x 2 + 8レーン x 2
FE (フロントエンド) の最大総ポート数 (すべてのタイプ) (アレイ単位)	24	24	24	24
イニシエータの最大数 (アレイ単位)	1,024	2,048	2,048	4,096
最大FCポート数 (アレイ単位)	20	20	20	20
組み込み10GbaseTポート数 (アレイ単位)	4	4	4	4
組み込みCNAポート数 (アレイ単位)	4ポート: 8/16 Gb FC**、10Gb IP/iSCSI、または1Gb RJ45	4ポート: 8/16 Gb FC**、10Gb IP/iSCSI、または1Gb RJ45	4ポート: 8/16 Gb FC**、10Gb IP/iSCSI、または1Gb RJ45	4ポート: 8/16 Gb FC**、10Gb IP/iSCSI、または1Gb RJ45
1 GbaseT/iSCSI最大総ポート数 (アレイ単位)	24	24	24	24
10 GbE/iSCSI最大総ポート数 (アレイ単位)	24	24	24	24
最大容量 (未フォーマット時)***	2.34 PB	3.9 PB	7.8 PB	9.7 PB
SANホスト最大数	512	1,024	1,024	2,048
プール最大数	20	30	40	100
LUNの最大数 (アレイ単位)	1,000	1,500	2,000	6,000
LUN最大サイズ	256 TB	256 TB	256 TB	256 TB
アレイあたりのファイルシステムの最大数	500	750	1000	1500
ファイルシステム最大サイズ	256 TB	256 TB	256 TB	256 TB
アレイ (ブロック) あたりの接続済みスナップショットの最大数	1000	1500	2000	6000
IOPS****	最大125 K	最大260 K	最大310 K	最大390 K

OSのサポート EMCシンプル サポート マトリックス (japan.emc.com) を参照

*SP (ストレージ プロセッサ) あたり2つのIOモジュール (ミラーリング)。

**シングル モードとマルチモードのどちらでも16 Gb使用可能。

***最大容量 (未フォーマット時) は、購入時に入手可能なドライブのサイズに応じて異なります。

****100%読み取り、8 Kブロック長

接続性

Dell EMC Unityシリーズでは、NFS/SMB接続のファイルストレージと、FCおよびiSCSIホスト接続のブロックストレージの両方で、I/Oモジュールによる柔軟な接続オプションを利用できます (SPあたりのサポートされるモジュール数については上記の表を参照)。

IO モジュール オプション

IOモジュール	説明
4ポート16 Gb/秒ファイバ チャンネル モジュール(ブロック専用)	4/8/16 Gb/秒対応のオート ネゴシエーションを行う4つのポートを持つ4ポートFCモジュール。シングルモードとマルチモードの光SFPおよびOM2/OM3/OM4ケーブルを使用して、ホストHBAまたはFCスイッチに直接接続する
4ポート1 GBASE-Tモジュール(ファイルとブロック)	4ポート1GbaseT IP/iSCSIモジュール。4つの1 GBaseT RJ-45銅線接続によりCat 5/6ケーブルでEthernetスイッチに接続する
4ポート10 GBASE-Tモジュール(ファイルとブロック)	4ポート10GbaseT Ethernet IP/iSCSIモジュール。4つの10 GBaseT EthernetポートでEthernetスイッチに銅線接続する
2ポート10 Gb/秒の光モジュール(ファイルとブロック)	2ポート10 GbE IP/iSCSIモジュール。EthernetスイッチへのSFP+光接続、またはアクティブ/パッシブTwinax銅線接続を選択。iSCSIオフロード エンジンを含む
4ポート10 Gb/秒の光モジュール(ファイルとブロック)	4ポート10 GbE IP/iSCSIモジュール。EthernetスイッチへのSFP+光接続、またはアクティブ/パッシブTwinax銅線接続を選択
4ポート12 Gb/秒SAS V3.0モジュール*	ブロック ストレージ プロセッサへのバックエンド ストレージ (DAE) 接続用の4ポート SASモジュール。各SASポートは、ポートあたり4レーン12 Gb/秒 (公称スループット48 Gb/秒を実現)。また、80台のドライブに対応できるDAEは、1対のSASポートを使用する8レーンの接続性を提供し、高パフォーマンスの広帯域幅を実現。

*500および600モデルのみ

最大ケーブル長

ショートウェーブ光OM3: 100 m (16 Gb)、150 m (8 Gb)、380 m (4 Gb)、500 m (2 Gb)。ショートウェーブ光OM4: 125 m (16 Gb)、190 m (8 Gb)、400 m (4 Gb)、500 m (2 Gb)

バックエンド(ドライブ)接続

各ストレージ プロセッサは、4レーン x 12 Gb/s SAS (シリアル接続SCSI) バスの2つの冗長ペアそれぞれの片側に接続され、ストレージ プロセッサやバスの障害発生時にホストに対する継続的なドライブ アクセスを提供します。すべてのモデルには4台の「システム」ドライブが必要です。サポートされるディスク最大数はプラットフォームによって異なります (前述の「物理的仕様」の表を参照)。システムドライブあたり107 GBが、Dell EMC Unityオペレーティング環境ソフトウェアおよびデータ構造によって消費されます。

DAE(ディスク アレイ エンクロージャ)

	25 x 2.5 インチドライブ DAE	80 x 2.5 インチドライブ DAE
サポートされているドライブ タイプ	フラッシュ	フラッシュ
コントローラ インターフェイス	12 Gb SAS	12 Gb SAS

ソリッド ステート ディスクドライブ

標準容量	400 GB SSD	800 GB SSD	1.6 TB SSD	1.92 TB SSD	3.2 TB SSD	3.84 TB SSD	7.68 TB SSD	15.36 TB SSD
フォーマット済み容量 (GB)*	366.7	733.5	1467.45	1751.9	2919.9	3503.9	7006.9	14014.9
25ドライブDAE/DPEおよび80ドライブDAEでのサポート	√	√	√	√	√	√	√	√
インターフェイス	12 Gb SAS							

公称電力消費量(ワット)

動作モード	4.25	4.25	4.25	4.25	4.25	4.25	4.25	4.25
アイドル モード	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

*GB = Base2 GiB (GB = 1024 x 1024 x 1024)

OEプロトコルおよびソフトウェア機能

Dell EMC Unityは、幅広いプロトコルと、さまざまなソフトウェアスイート、プラグイン、ドライバ、パックにより提供される高度な機能をサポートしています。

サポートされるプロトコルおよび機能		
SMBプロトコル用のABE (Access Base Enumeration)	ARP (アドレス解決プロトコル)	ブロックプロトコル: iSCSI、ファイバチャネル (FCP SCSI-3)
自己管理の暗号化キー付のコントローラベースのD@RE (静止データ暗号化)	リーフノードまたはスタンドアロンルートサーバとしてのDFS分散ファイルシステム (Microsoft)	ファイバチャネルとiSCSIの直接ホスト接続
DAC (ダイナミックアクセス制御)、クレームをサポート	FSN (Fail Safe Networking)	ICMP (Internet Control Message Protocol)
Kerberos認証	KMIP (Key Management Interoperability Protocol) 準拠のD@RE向け外部キーマネージャ	LDAP (Lightweight Directory Access Protocol)
LDAP SSL	ファイルアクセス用のリンク統合 (IEEE 802.3ad)	NLM (Network Lock Manager) v1、v2、v3、v4
管理およびデータ用ポート (IPv4およびIPv6)	UNIXおよびSMBクライアント (Microsoft、Apple、Sambaなど) 向けNASサーバのマルチプロトコル	NDMP (Network Data Management Protocol) V1~V4
NIS (Network Information Service) クライアント	NSM (Network Status Monitor) V1	NTP (Network Time Protocol) クライアント
NFS v3/v4セキュアサポート	NTLM (NT LAN Manager)	Portmapper V2
REST API: HTTPリクエストを使用して管理可能なオープンAPI	RoHS (特定有害物質使用制限) へのコンプライアンス	Microsoft Hyper-V対応RSVD v1
SMBプロトコル対応シンプルホームディレクトリアクセス	SMI-S v1.6.0対応UFS64ファイルクライアント	SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)
SNMP (Simple Network Management Protocol) v2cおよびv3	仮想LAN (IEEE 802.1q)	
セキュリティとコンプライアンス (Dell EMC UnityVSAを除くすべてのDell EMC Unityシステムに適用)		
国防総省情報ネットワーク承認済み製品リスト (DODIN APL) テスト中		
コモンクライテリア		
自己管理の暗号化キー付のコントローラベースのD@RE (静止データ暗号化)		
KMIP準拠のD@RE向け外部キーマネージャ		
FIPS 140-2認証		
IPv6とデュアルスタック (IPv4) 動作モード		
ネイティブのSHA2証明書		
セキュリティ技術導入ガイド/セキュリティ要件ガイド (STIG/SRG)		
TLS 1.2のサポートとTLS 1.0の無効化		

ソフトウェア

オール イン ワン ベース ソフトウェア

管理ソフトウェア:

- Unisphere: Element Manager
- Unisphere Central: 統合ダッシュボードとアラート
- CloudIQ: クラウド ベースのStorage Analytics
- シン プロビジョニング
- 動的プール
- データ削減: 圧縮/重複排除(ブロックとファイル)
- Proactive Assist: リモート サポート、オンライン チャット、サービス リクエストのオープンなどを構成
- QoS(ブロックとVVols)
- Dell EMC Storage Analytics Adapter for VMware® vRealize™
- パブリック/プライベート クラウドのファイルとブロック階層化/アーカイブ(Cloud Tiering Appliance)

統合型プロトコル:

- ファイル
- ブロック
- VVOL

ローカル保護:

- 自己管理または外部の鍵管理によるコントローラ ベースの暗号化(オプション)
- ローカルのポイント イン タイム コピー(スナップショットとシン クローン)
- AppSync Basic
- Dell EMC Common Event Enabler、AntiVirus Agent、Event Publishing Agent

リモート保護:

- ネイティブ非同期ブロックおよびファイル レプリケーション
- ネイティブ同期ブロックおよびファイル レプリケーション
- Snapshot Shipping
- Dell EMC RecoverPoint Basic
- Dell EMC Recoverpoint for VMs

インターフェイス プロトコル

NFSv3、NFSv4、NFSv4.1、CIFS(SMB 1)、SMB 2、SMB 3.0、SMB 3.02、SMB 3.1.1、FTPおよびSFTP、FC、iSCSIに対応

オプション ソフトウェア

- AppSync Advanced
- Data Protection Suite: バックアップ、アーカイブ、コラボレーション ソフトウェア
- Dell EMC RecoverPoint Advanced
- PowerPath Migration Enabler
- PowerPath Multipathing
- VPLEX

注: ソフトウェア ライセンスの詳細については、EMC セールス担当者までお問い合わせください。

仮想化ソリューション

Dell EMC Unityは、さまざまなソフトウェア スイートおよびパックにより、幅広いプロトコルと高度な機能をサポートしています。次にその一部を紹介します。

- Dell ESI(EMC Storage Integrator): Hyper-VおよびSharePoint向けMicrosoft管理コンテキスト(Systems Center)内におけるプロビジョニングに対応
- OpenStack Cinderドライバ: OpenStack環境内のブロック ボリュームのプロビジョニングと管理に対応
- OpenStack Manilaドライバ: OpenStack環境内の共有ファイル システムの管理に対応
- VMware vSphere™向けDell EMC VSI(Virtual Storage Integrator): プロビジョニング、管理、クローン作製に対応
- VMware SRM(Site Recovery Manager)の統合: 迅速で確実なディザスタリカバリを可能にする、フェールオーバーおよびフェールバックを管理
- 仮想化API統合: VMware: VAAIとVASA。Hyper-V: ファイルのODX(オフロード データ転送)とオフロード コピー

電力仕様概要

表示されているすべての電力数値は、20°C~25°Cの周辺温度環境において、最も条件が厳しい製品構成で正常動作する最大値を示しています。

高い周辺温度環境で実行された場合、示されているシャーシの電力数値は増加する可能性があります。

DPE(ディスク プロセッサ エンクロージャ)

	300F DPE 25 2.5インチ SFFドライブと4つのIOモジュール	400F DPE 25 2.5インチ SFFドライブと4つのIOモジュール	500F DPE 25 2.5インチ SFFドライブと4つのIOモジュール	600F DPE 25 2.5インチ SFFドライブと4つのIOモジュール
電源				
ACライン電圧	AC 100~240 V±10%、単相、47~63 Hz			
ACライン電流(動作時最大電流)	AC 100 Vで最大 9.08 A、 AC 200 Vで最大 4.54 A	AC 100 Vで最大 9.09 A、 AC 200 Vで最大 4.55 A	AC 100 Vで最大 9.55 A、 AC 200 Vで最大 4.78 A	AC 100 Vで最大 9.89 A、 AC 200 Vで最大 4.95 A
電力消費量(動作時最大電力消費量)	AC 100 Vで 最大 907.5 VA (903.5 W) AC 200 Vで最大 907.5 VA (895.5 W)	AC 100 Vで 最大 909.0 VA (905.0 W) AC 200 Vで最大 909.0 VA (897.0 W)	AC 100 Vで 最大 955.0 VA (951.0 W) AC 200 Vで最大 955.0 VA (943.0 W)	AC 100 Vで 最大 989.0 VA (985.0 W) AC 200 Vで最大 989.0 VA (977.0 W)
力率	全負荷のときAC 100/200 Vで最小0.95			
発熱量(動作時最大発熱量)	3.25 x 10 ⁶ J/時間、(3,083 Btu/時間) AC 100 Vで最大; 3.22 x 10 ⁶ J/時間、(3,056 Btu/時間) 最大(100V*)	3.26 x 10 ⁶ J/時間、(3,088 Btu/時間) AC 100 Vで最大; 3.23 x 10 ⁶ J/時間、(3,061 Btu/時間) 最大(100V*)	3.42 x 10 ⁶ J/時間、(3,245 Btu/時間) AC 100 Vで最大; 3.40 x 10 ⁶ J/時間、(3,218 Btu/時間) 最大(100V*)	3.55 x 10 ⁶ J/時間、(3,361 Btu/時間) AC 100 Vで最大; 3.55 x 10 ⁶ J/時間、(3,334 Btu/時間) 最大(100V*)
突入電流	電圧を問わず、電源コードあたり 45 Apk(コールド)			
起動時サージ耐量	電圧を問わず、電源コードあたり 120 Apk(ホット)			
AC保護	各電源で 15 A ヒューズ(単一コード)			
AC入力タイプ	IEC320-C14アプライアンス カプラー、電源領域あたり1口			
瞬断許容時間	最短 10 ミリ秒			
カレント シェアリング	電源間全負荷の±5%			
寸法				
重量(kg/ポンド)	空の場合: 24.60/54.11	空の場合: 24.60/54.11	空の場合: 24.60/54.11	空の場合: 24.60/54.11
垂直サイズ	2 NEMA 単位	2 NEMA 単位	2 NEMA 単位	2 NEMA 単位
高さ(cm/インチ)	8.88/3.5	8.88/3.5	8.88/3.5	8.88/3.5
幅(cm/インチ)	44.76/17.62	44.76/17.62	44.76/17.62	44.76/17.62
奥行(cm/インチ)	60.9/24.0	60.9/24.0	60.9/24.0	60.9/24.0

注: DPEとDAEの電力消費量の値は、通常の周辺温度環境(20°C~25°C)で稼働している、フル装備のエンクロージャ構成(電源、ドライブ、I/Oモジュール)に基づきます。

DAE(ディスクアレイエンクロージャ)

	25 x 2.5 インチ ディスクアレイエンクロージャ	80 x 2.5 インチ ディスクアレイエンクロージャ
電源		
ACライン電圧	AC 100~240 V±10%、単相、47~63 Hz	
ACライン電流(動作時最大電流)	AC 100 Vで最大 4.50 A、 AC 200 Vで最大 2.40 A	AC 100 Vで最大 13.18 A、 AC 200 Vで最大 6.59 A
電力消費量(動作時最大電力消費量)	AC 100 Vで最大 453.0 VA/432.0 W AC 200 Vで最大 485.0 VA/427.0 W	AC 100 Vで最大 1318.0 VA/1233.0 W AC 200 Vで最大 1318.0 VA/1233.0 W
力率	全負荷のとき 100 V/200 Vで最小 0.95	
発熱量(動作時最大発熱量)	AC 100 Vで最大 1.56 x 10 ⁶ J/時間(1,474 BTU/時間) AC 200 Vで最大 1.54 x 10 ⁶ J/時間(1,457 BTU/時間)	AC 100 Vで最大 4.43 x 10 ⁶ J/時間(4,207 BTU/時間) AC 200 Vで最大 4.43 x 10 ⁶ J/時間(4,207 BTU/時間)
突入電流	電圧を問わず、電源コードあたり 30 Apk(コールド)	電圧を問わず、電源コードあたり 45 Apk(コールド)
起動時サージ耐量	電圧を問わず、電源コードあたり 40 Apk(コールド)	電圧を問わず、電源コードあたり 120 Apk(ホット)
AC保護	各電源で 15 A ヒューズ(単一コード)	
AC入力タイプ	IEC320-C14 アプライアンス カプラー、電源領域あたり 1 口	
瞬断許容時間	最小 12 ミリ秒	最小 10 ミリ秒
カレントシェアリング	電源間全負荷の±5%	
重量および寸法		
重量(kg/ポンド)	空の場合: 10.0/22.1 フル: 20.23/44.61	空の場合: 11.33/25 フル: 58.9/130
垂直サイズ	2 NEMA 単位	
高さ(cm/インチ)	8.46/3.40	
幅(cm/インチ)	44.45/17.5	
奥行(cm/インチ)	33.02/13	

注: DPEとDAEの電力消費量の値は、通常の周辺温度環境(20°C~25°C)で稼働している、フル装備のエンクロージャ構成(電源、ドライブ、I/Oモジュール)に基づきます。

キャビネット

標準40Uキャビネット

ACライン電圧	AC 200~240 V±10%、単相、47~63 Hz
電源構成	それぞれ冗長化された1個、2個、3個、4個の電源ドメイン
電源入力数	2口、4口、6口、8口(ドメインあたり2口)
プラグのタイプ	NEMA L6-30PまたはIEC309-332 P6またはIP57(オーストラリア)
入力電源の容量	ドメイン×1 : 4,800 VA @ AC 200 V、5,760 VA @ AC 240 V ドメイン×2 : 9,600 VA @ AC 200 V、11,520 VA @ AC 240 V ドメイン×3 : 14,400 VA @ AC 200 V、17,280 VA @ AC 240 V ドメイン×4 : 19,200 VA @ AC 200 V、20,040 VA @ AC 240 V
AC保護	各分岐電源に30 Aの回路ブレーカー
40Uキャビネット寸法	高さ: 75インチ(190.8 cm)、幅: 24インチ(61.1 cm)、奥行: 39インチ(99.2 cm)、重量(キャビネットのみ): 380ポンド(173 kg)

動作環境 (ASHRAEの装置規格クラスA4に準拠)

推奨動作範囲	装置が最も確実に動作し、かつ適切なエネルギー効率でデータセンターの運用を達成する制限範囲。	露点 5.5°C (41.9°F) で 18°C~27°C (64.4°F~80.6°F)、最大で相対湿度 60%、露点 15°C (59°F)
継続許容動作範囲	データセンター全体の効率性を高める目的でデータセンターエコ技術(フリークーリングなど)を導入した場合に、装置の吸気状態が推奨範囲に収まらなくなっても動作が継続される範囲。この範囲内であれば、時間単位の制限なしで装置が動作します。	相対湿度 20%~80% で 10°C~35°C (50°F~95°F)、最大露点(最大湿球温度) 21°C (69.8°F)。950 m を超える高度では、最大許容乾球温度が 300 m ごとに 1°C (3117 フィート) を超える高度で、547 フィートごとに 1°F 低くなります。
拡張許容動作範囲	1日のうちの特定の時間帯や1年のうちの特定の時期に、装置の吸気状態が継続許容範囲に収まらなくなった場合でも、拡張された異常範囲には収まっている状態。この範囲内であれば、年間動作時間の10%までは装置が動作します。	5°C~10°C および 35°C~40°C (装置への直射日光は避ける)、相対湿度 8%~85%、露点 -12°C~24°C (最大湿球温度)。継続許容範囲 (10°C~35°C) から外れても、5°C~40°C の範囲内であれば、年間動作時間の 10% まではシステムの動作が継続されます。温度が 35°C~40°C (95°F~104°F) の場合、950 m を超える高度では、最大許容乾球温度が 175 m ごとに 1°C (3117 フィート) を超える高度で、319 フィートごとに 1°F 低くなります。
拡張許容動作範囲の例外	1日のうちの特定の時間帯や1年のうちの特定の時期に、装置の吸気状態が継続許容範囲に収まらなくなった場合でも、拡張された例外範囲には収まっている状態。この範囲内であれば、年間動作時間の1%までは装置が動作します。	5°C~10°C および 35°C~40°C (装置への直射日光は避ける)、相対湿度 8%~85%、露点 -12°C~24°C (最大湿球温度)。継続許容範囲 (10°C~35°C) から外れても、5°C~45°C の範囲内であれば、年間動作時間の 1% まではシステムの動作が継続されます。温度が 35°C~45°C (95°F~104°F) の場合、950 m を超える高度では、最大許容乾球温度が 125 m ごとに 1°C (3117 フィート) を超える高度で、228 フィートごとに 1°F 低くなります。
温度勾配		20°C/時 (36°F/時)
高度	最大動作	3050m (10,000 フィート)

適合文書

この情報技術機器は、電磁両立性(EMC)および本製品が販売されている国における製品安全規制/基準に準拠しています。EMC へのコンプライアンスは、FCC パート 15 の CISPR22/CISPR24 および EN55022/EN55024 の基準に基づくもので、該当する国際的な変則基準も含まれます。EMC に準拠する Class A 製品は、ビジネス、産業、および商業環境での使用目的に販売しています。製品の安全性コンプライアンスは、IEC 60950-1 および EN60950-1 の基準に基づくもので、該当する国内的な変則基準も含まれます。

この情報技術機器は EU RoHS Directive 2011/65/EU に準拠しています。

本製品で使用されている個々のデバイスは、それぞれのデバイスのレーティング ラベルに貼付されている独自の規制モデルの鑑定者によって承認を受けており、このデータ シートに記載されているマーケティングまたは製品ファミリーの名前と異なる場合があります。

詳細情報は、<https://support.emc.com>、Safety & EMI Compliance Information のタブをご覧ください。

DELL EMC UNITYの構成と見積り.



機能の比較、オプションの確認、価格のお問い合わせ先: store.emc.com/unity

お問い合わせ

詳細については、EMCセールス担当者またはEMC認定リセラーまでお問い合わせください。



Dell EMC、Dell EMCのロゴ、AppSync、CloudIQ、Data Protection Suite、EMC2、Dell EMC Unity、Unisphere、Dell EMC RecoverPoint、PowerPath、VPLEXは、Dell EMCの登録商標または商標です。VMware、vCenter、vSphere、VMwareのロゴは、VMware, Inc.の登録商標または商標です。Published in the USA. 5/17、スペック シート、H14957.7-J

EMC Corporationは、この資料に記載される情報が、発行日時時点で正確であるとみなしています。この情報は予告なく変更されることがあります。

EMCは、デルのグループ企業となりました。